

アン・ジーンの OBOG インタビュー企画 ～想いを語り未来へつなぐ～（概要）

長崎大学経済学部山口研究室

I. 趣旨

「アン・ジーンのインタビュー企画 ～想いを語り未来へつなぐ～」(以下、本企画)は、長崎大学経済学部山口研究室が企画・運営を担当し、瓊林会のご協力のもと、経済学部 OBOG の皆さまに学生時代の思い出や今の経済学部への想い等をインタビューし、各ホームページや SNS 等で発信するプロジェクトです。

昨年度、山口研究室は、歴史あるキャンパスの魅力を発掘し、少しでも多くの人に経済学部が身近な場であるように感じてほしいと考え、SNS（長崎大学経済学部山口研究室の Instagram, Facebook, X のアカウント）にて「片淵キャンパスの魅力紹介」として全 120 回におよぶ投稿を実施しました。その取り組みをとおして、片淵キャンパスの歴史や自然、先輩方の学部への想い等を実感したと同時に、私たちにバトンをつないでくださった OBOG の皆さまの本校での思い出や学部、現役学生への想い等を広く発信をしていきたいと強く感じました。

そこで、経済学部 120 年の歴史を紡いできた皆さまから現在そして未来の学生へバトンをつなぎ、皆さまと学生との間でこれからもより深い関係性を築くこと、言い換えると、「想いを語り未来へつなぐ」ことをコンセプトに、本企画を実施したいと思います。そして、実社会で様々なご経験をされた皆さまの言葉をとおして、社会に出る前の学生が大学生活の「今」を一生懸命に生きる励みになったり、将来の人生観を築くのにつながったりと、本企画が学生の背中を押す機会につながればと考えています。

II. 実施内容等

1. 本企画は、来年 3 月末までを予定し、3～4 名のインタビューを予定。
2. インタビューの公開方法については、インタビュー動画および文章で構成された記事を作成。発信媒体は、山口研究室のホームページを予定。また、長崎大学経済学部 120 周年記念ホームページなどにて、インタビュー記事や動画が公開されたことのお知らせを載せていただく予定。

120th Anniversary

長崎大学経済学部山口純哉研究室の学生7名が昨年からキャンパスツアーや交流サイト（SNS）投稿を通じて、片淵キャンパスの歴史や魅力を発信し続けています。

山口研究室のFacebookページでは、【アン・ジーンと一緒に！片淵キャンパスの魅力を見ていこう！】と題して、江戸時代の出島から現代に



anniversary
120th

120周年に因み、山口ゼミの学生が「片淵キャンパスの魅力120」をSNSで紹介

タイムスリップしたオランダ商館長という架空のキャラクター、アン・ジーンを案内役に片淵キャンパスの魅力を次々に紹介しています。創立120周年に因み、この投稿はパート120まで続きました。

※山口研究室のFacebookページ
<https://www.facebook.com/jylab>

なお、山口ゼミの学生の取り組みは、地元の長崎新聞やNIBのニュースなどでも取り上げられています。

※長崎新聞HP記事

<https://www.nagasaki-np.co.jp/kijis/?kijid=4acfb904190a45b59dc746573fd4dea7b>

※NIBニュース動画

<https://www.dejima.co.jp/programs/20250423-tokusyuuu-1d6ec5>

